

《第3学期PTA全体会》

本日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。子どもたちは、1年間の学習のまとめや、修・卒業式の準備に取り組んでいるところです。2日水曜日には6年生を送る会があり、鼓笛の引継ぎもありました。最初に、6年生と一緒に最後の鼓笛演奏を行いました。その後、新鼓笛隊の演奏が初めて披露されました。これまでによく練習をして、立派に演奏してくれました。6年生は中学校進学に向けて、1年生から5年生は、進級に向けての気持ちが高まっているところです。

さて、3学期も保護者の皆様には様々な教育活動にご協力いただきました。校内スキー記録会ではすばらしい天候のもと、皆様のご協力により、子どもたちに達成感や満足感を持たせることができました。ありがとうございます。スキー学校の先生には、スキー教室で2回、記録会の午前中に1回ときめ細かい指導をしていただき、子どもたちの上達ぶりは目を見張るばかりでした。

また、3学期は、総務・教養部を中心にPTA文集「ひめさゆり」を作成していただきました。これもお忙しい中、原稿をお寄せいただき誠にありがとうございました。今年度の「ひめさゆり」も写真がたくさん入っており、1年間の思い出のアルバムとしても、とても素敵な文集になると思います。

23日には、いよいよ修・卒業証書授与式があります。6年生の晴揮君にとっては、残り少ない横田小学校での生活となりました。全校生11人、晴れやかな気持ちで、当日を迎えさせたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

1年間にわたる主な校長の話やあいさつを読んでいた。いかがだろうか。子どもが11人しかいないので、全員の名前を呼んだりもした。振り返ってみると、子どもたちに対しては、まずは「短く、簡潔に」を意識していたことがわかる。最初の転入のあいさつでは、あまりにも短くて、子どもたちが「えっ」となったことを覚えている。

校長先生の話といたら長いと思っていたのだろう。今読んでも、おもしろみというものはない。心に残るキープレーズがない。最後の保護者向けのあいさつがいい例である。これでは誰も聞かない。では、2年目はどうかと思い、原稿があったので載せてみる。すると、短さには拍車がかかっていた。決してやる気がないわけではない。2年目は、校長の話の枠を使って道德の授業やディベートなどを行うようになった。

【第1学期始業式】

今日から平成28年度の学校生活が始まります。4月から3月までで、みなさんが学校にくるのは204日です。1学期が71日、2学期が81日、3学期が52日です。今日は71日間の1学期のスタートの日でもあります。新しい先生方、4名の新入生、そして新しいお友達を迎えて、みなさんは明るい気持ちでいっぱいのことと思います。今年度も、ぜひ横田小学校をみんなの力ですばらしい学校にしていきたいと思います。

短ければいいというものでもない。2年目は、話のプロットだけを考え、キープレーズを入れながら、原稿を作成せずに話してみた。それがよかったかどうかはわからない。原稿が残っていないので、再現もできない。いろいろやってみたが、いまだにスピーチスタイルを固定できないでいる。

1年目の保護者向けの原稿を読むと、とりあえず「安全策」をとっているのがよくわかる。安全策には、あまり魅力がない。可もなく不可もなくである。原稿を一度書くと、話していて、あれが抜けないように、これを言い忘れないようになってしまう。これもよくない。

世の中には、あいさつが上手な人がいる。いつも感心させられる方がいる。皆さんもそういった方をご存じだろう。私は、教員ではない方から多くのことを学んでいるように思う。これからも修行あるのみか。